

令和元年12月定例会(会期11/27~12/20)が閉幕しました。12月定例会における神坂達成の取り組みをご報告させていただきます。



第2産業道路(中尾陸橋交差点周辺)の渋滞緩和を!

第二産業道路と国道463号バイパス、また国道463号と交差する中尾陸橋下交差点および緑区役所北交差点は、国(関東地方整備局)においても「主要渋滞箇所」に指定されています。幹線道路が渋滞することによる市民生活への影響の上からも早急な改善が必要です。

神坂達成は、中尾陸橋交差点から、緑区役所北交差点及びその先の南側交差点までの信号を含め、信号のタイミングの系統化を図ることによる渋滞解消をまちづくり委員会にて提案しました。

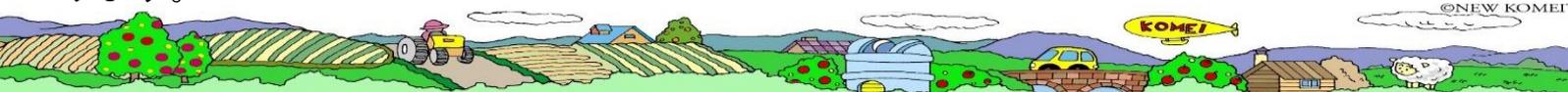


渋滞解消へ信号の系統化進めよ!

答弁では、「この中尾陸橋下交差点については整備済みとなっているが交通量調査の結果から、特に交差点北側で渋滞が観測されている。その原因としては、大型商業施設からの出入りや自動車の錯綜、交差点を横断する買い物客が多いことなどが上げられます。」

「委員ご指摘の、中尾陸橋下交差点および緑区役所北交差点との信号機の連動も含めた渋滞解消に向けた取組としましては、当該2箇所及び南側交差点における道路状況や交通特性などを確認した上で、今後、信号調整を含め、交通管理者(警察)と協議してまいります。」との渋滞解消に向けた方向性が示されました。

引き続き、安全で快適なまちづくりを目指し、かみさかたつあきは取組を進めてまいります。



国道463号バイパス(原山区間)の渋滞解消を！

国道463号バイパスは、本市の東西交通を担う重要路線です。一方、この路線の原山区間では、本太坂下交差点から新浦和橋までの約1kmの区間が2車線となっていることなどにより、慢性的な渋滞が発生しています。この渋滞を解消するため、当該区間の4車線化整備は必要不可欠です。これまでも幾度となく議会で取り上げてきましたが、早期完成にむけさらなる取組を強く求めました。



答弁では、「これまでに現地測量や交通量調査を実施。今年度は、道路設計や本太坂下交差点の改良設計を行い、交通管理者（警察）と協議を進めている。」
「今後、早期の地元説明会の開催にむけ、協議、調整を進めて行く。」とのスケジュールが示されました。



保育施設周辺に「キッズゾーン」の設置を！

令和元年5月に滋賀県大津市で、散歩中の園児らが車にはねられ死傷するという痛ましい事故を踏まえ、早急に保育所周辺の危険箇所へ「キッズゾーン」を設置するよう、かみさかたつあきは、まちづくり委員会において強く求めました。



答弁では「現在、緊急安全点検を進めており、対策が必要な箇所について保育担当部局、道路管理者、警察が合同で点検を行っています。キッズゾーン設置についても、この体制で連携し取組んで行くものと考えている。」との設置に向けた方向性が示されました。

※キッズゾーンとは、「スクールゾーン」に準じる安全対策の重点地域。保育所を中心に、原則半径500m以内を対象範囲とし、園児の散歩コースなどを踏まえ、道路管理者（市）、保育施設、交通管理者（警察）などと協力して設定する。



さいたま市立病院 新病院がオープン！



基本設計から6年間の時を経て、新病院は、地上10階・地下3階建ての免震構造で延べ床面積は、54,238㎡、病床数は637床、診療予定科目は、29科目となり、旧病院の地上6階建て延べ床面積29,651㎡、27科目と比べて、大きく拡充されるとともに、内視鏡下手術支援ロボット「ダビンチ」や放射線治療器「リニアック」等、先端機器が導入されるなど市民の生命と健康を守る安心の拠点として生まれ変わりました。

ご意見・ご要望などございましたら、お気軽にあなたの声をお聞かせください。FAX048-831-2778
市政レポートのバックナンバーもご覧いただけます。

